

蔵工同窓会報

第 15 号

都立蔵前工業高校
同窓会
台東区蔵前1-3-57
TEL. (03) 3862-4488

蔵工創立90周年に向けて

同窓会会長 松野義勝



平成二十三年七月、深尾前会長より襁を受け第一期(二年)が過ぎました。
二年前に起こりました、東日本大震災は被災地に多大なる災禍を残し、今も復興の途に有ります。
被災されました同窓会会員並びに被災地の方々へ一日も早い復興を衷心より祈念いたします。
さて、本年は同窓会総会開催の年であり、会報発刊にあたり御挨拶を申し上げます。

同窓会は平成二十三年度一四六名・平成二十四年度一六八名の新会員を迎えました。
この間、前会長のテーマである『活力のある同窓会』を引き継ぎ、同窓会役員共々会運営にあたって来しました。

学校生徒への支援は、校内活動支援の外、「ものづくり競技大会」の参加支援、「インターシッパ」の助成等を行い、また卒業式の際には、資格取得者・学術成績優秀者・精進者を表彰し、同窓会活動の一環を父兄の方に周知させて頂きました。

それから、来年は大正十三年に東京市立浅草工業専修学校(夜間)として創立されました、母校

蔵工も創立九十周年の盛儀を迎えます。これを期にしまして、平成二十二年度にリニューアルを

行いました、本校六階に在ります『蔵工記念館』の展示品(写真・他)の増設・学校沿革年表の更新を行い、充実化を図る為に予算を計上します。

また周年記念事業に付きましては、現在学校・PTA・同窓会で協議推進を致しております。

その節は、会員皆様の御理解・御協力の程を何卒宜しく御願ひ申し上げます。

只今、会長役を拝命しており、

同窓会の運営に関して毎月、第一木曜日午後六時三十分から『蔵工記念館』で会議を行って居ります

その席上において、同窓会役員の高齢化に苦慮しております。

同窓会活性化の為に、次代を継

承して頂く若い世代の会員方の参加を念願しております。

現役で活躍されておられます方々は、「同窓会までは」と思われる

かも知れませんが、吾らが蔵工の絆を深めて行く上にも、是非御助力を頂けます様、御願ひ致します

※ 同窓会への御意見・御連絡は、蔵工同窓会ホームページを御利用下さい。

それでは、会員皆様の御健勝をお祈り申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

専門家を育てる蔵前の専門科

学校長 豊田 善敬



平素から同窓会より本校生徒の教育活動に対して、多大なご支援をいただいていることに感謝申し上げます。日々生徒たちは、機

平成25年度 同窓会総会と懇親会のご案内

初夏の候、同窓生の皆様にはますますご清栄の事と存じます。さて、隔年で開催しております同窓会総会を同窓会正副会長会議で協議し、下記の日程で開催することとなりました。皆様には、公私ともご多忙とは存じますが、あらかじめ日程調整の上、是非ご参加いただきますようご予定願います。

開催日：平成 25 年 7 月 19 日(金)
時刻：午後 6 時より 9 時(受付は午後 5 時 30 分より)
会場：台東区立 台東区民会館 9 階
電話 03-3842-0771(精養軒)
03-3843-5391~3(会館)
会費：5,000円
平成25年・24年3月卒業生は2,000円

- この会報に同封されている「はがき」で出欠のご連絡をお願いします。恐縮ですが、50円切手を貼ってください。
- 又、ホームページ FAX から出欠の連絡を受取ますのでご利用ください。



ホームページは「蔵工同窓会」より検索してください。

「はがき」での出欠には封筒宛名シール右下の管理コードを必ずご記入ください。
例：DSS43102

- 東武線・地下鉄銀座線・つくば XP 浅草駅から 370m (徒歩 5 分)
- 都営地下鉄 浅草駅から 500m (徒歩 8 分)
- 都バス 都08 日暮里⇄錦糸町、草64 浅草雷門⇄池袋東口

二天門下車すぐ前

械・電気・建築・設備工業それぞれの専門的知識・技術・技能を学ぶとともに将来の進路に役立つ資格を多数取得し、生徒自らが自信と力を付けています。

昨年6月に蔵工の様々な教育活動や生徒の様子や魅力が多くの人に伝わるようなキャッチコピーを本校の生徒並びに教職員から募集しました。採用された文言に修正を加え、7月以降の学校見学会・学校説明会で配布する資料を入れるクリアファイルの表に「専門家」を育てる蔵前の専門科を「一つくる力は未来をつくる」を裏に印刷しました。斬新なデザイン

のクリアファイルが出来上がり活用しました。この取り組みを通して、生徒及び教職員へより深い愛校心ができたと思っています。資格取得のものづくりは、工業

資格取得のものづくりは、工業

高校の根幹です。蔵工の資格取得の延べ人数は、平成22年度621名から平成24年度785名、また、ジュニアマイスター顕彰は、平成22年度ゴールド3人、シルバー3人から平成24年度ゴールド10人、シルバー13人と大幅に増加しました。入学以来、生徒の挑戦と努力、先生方の熱意溢れる指導が成果となって表れました。

本校は開校以来、日本の産業社会を支える優秀な専門技術者を育成することを目標に様々な教育活動に取り組んでいます。今までの良き伝統を継承し、特色ある教育活動を通して、今後も社会に貢献できる人材の育成、人格の完成、人間的に成長することを念頭におき「高度な専門的知識や技能を身につけたスペシャリストの育成」を目指してまいります。

現在の日本は、生活する上で大変便利になり、不自由さを感じることもなくなりました。正に成熟した日本となりました。今後の日本をさらに発展させるためにはどうすれば良いかを考え実行していく人間が求められます。「専門家を育てる蔵前の専門科」で学んだことを生かし、卒業後社会に大きく貢献してくれることを私は期待しています。

最後になりましたが、来年は、創立90周年記念式典を執り行う予定です。同窓会のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。蔵工で学ぶ生徒一人一人が将来の夢や希望を確実に実現できるようにこれからも教職員一丸となって取り組んでまいります。

蔵工 90 周年を 振り返る

現在、学校では PTA・同窓会の協賛で創立 90 周年記念式典に向けての準備委員会を設立し会合を重ねております。

蔵工記念館には歴代の卒業アルバムから懐かしい写真・教科書・文集・制帽・ボタン・バッチなどが皆様から提供された資料が展示されております。この内、周年記念誌より蔵工創立のエピソードとなった出来事をご紹介します。

浅草工業専修学校

大正 13 年・昭和 10 年



大正 12 年関東大震災の復旧の一環として技術者の養成目的で夜間の専修学校が設立された。「学校は浅草」

観音様の裏手に当たる馬道町にあり、その頃としては新しい鉄筋コンクリート 3 階建ての富士小学校の一部を借用して夜間の授業をしていた」「先生は鉄道省や警視庁その他の技師の方々が多く、中でも鉄道省の永田先生は同じ役所の後輩などが生徒として来ていたので、帰途など一緒に談笑しながら帰られる姿が今更の様に目に浮かんで、教える者、学ぶ者の真の姿がここにあり、その効果も多かったことと思う」50 周年誌より

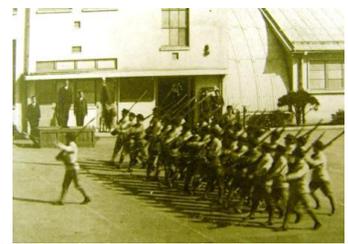
戦前の蔵前工業学校

昭和 10 年・昭和 20 年



昭和 10 年専修学校廃止に伴い東京市立蔵前工業学校が設立。蔵前高等小学校の校舎現在の蔵前（浅草）中学に移転し夜間授業が行われる。敷地には丸屋根の大きな実習工

場が付属されていた。「警戒警報に備えて電燈を覆い、窓も暗幕で閉ざしての夜の授業は忘れられない。当時としては珍しい給食制度があり、教師も教室で生徒とともに食べべたが、北條校長のきついお達しで、メザシの頭まで



昭和 20 年・昭和 25 年「終戦直後の蔵工の姿は真に惨憺たるものでした。当時昼間部が新しく設けられていたものの、校舎は焼け残りの柳北小学校の一隅に、小学生用の机腰掛を借用、焼失実習工場の焼失した工作機械 10 台

終戦時の蔵前工業学校

昭和 20 年・昭和 25 年

「昭和 26 年に機械実習工場が修復され、機械科、電気科の実習設備ができた。終戦時もそうだったがこの時も機械の据付けはほとんど生徒の協力によるものでベルト

のみであった。（省略）職員生徒とも食糧買出しに追われ、加売りに停電が相次ぎ、ローソクを便りの勉強であった」50 周年誌より



蔵前工業高等学校

昭和 26 年



昭和 23 年突然六・三・三制の実施が決まったが、校舎はまだ蔵前中学と蔵前工業の共用であり新校地・新校舎獲得が急務であった。

掛けの機械はその名残である」40 周年誌より

この後、新校舎が次々に建設され設備も充実されたが、それは歴代校長・PTA・同窓会の絶え間ない協力によるものであった。母校 6 階の蔵工記念館にはここでは紹介できなかった貴重な資料が展示してあります。しかし、まだまだ史料が不足です。より充実した記念館とするために皆さんからのご寄贈を待つております。



蔵工創立 90 周年記念行事に向けて基金の「協力」を
同窓会基金理事長 伊藤 進
蔵工同窓会基金は蔵工同窓会の運営及び活動に資することを目的としております。
基金の収入源は会員各位の浄財をご寄付に頼っております。
平成 23 年度は ¥649,530 のご寄付を頂きました。平成 24 年度は ¥136,820 に成りました。
毎年、寄付金額がショートしていることが気掛かりです。
基金の資金不足は同窓会の運営にも影響いたします。
会員各位のなお一層のご協力を切にお願ひする次第です。
来年度は創立 90 周年記念行事を控えております。
学校側と PTA 及び同窓会合同の実行委員会による計画を立案しております。
同窓会としても相応の協力が必要と思ひます。
以上ご勸案頂きましてご尽力くださるようお願いいたします。

学校の歩み

紙面の都合上平成 15 年まで掲載しました。

大正 13 年 5 月 22 日	東京市立浅草工業専修学校設立認可
大正 13 年 8 月 1 日	校長市村秀治就任
大正 13 年 9 月 11 日	富士小学校講内で授業開始
大正 15 年 7 月 1 日	青年訓練所認定を受ける
昭和 10 年 9 月 28 日	東京市立蔵前工業学校認可
昭和 10 年 9 月 30 日	北条三郎本校校長に就任
昭和 10 年 10 月 1 日	東京市立蔵前工業学校授業開始
昭和 13 年 3 月 20 日	蔵前高等小学校内に移転
昭和 17 年 4 月 1 日	第 1 本科浅草区育英国民学校内
昭和 18 年 7 月 1 日	東京都立蔵前工業学校と改称
昭和 19 年 4 月 5 日	第 1 本科田中国民学校内に移転
昭和 20 年 3 月 9 日	戦災により新築中の校舎消失
昭和 20 年 4 月 1 日	柳北国民学校内授業開始
昭和 21 年 3 月 31 日	伏見三郎本校校長に就任
昭和 21 年 9 月 13 日	旧蔵前国民学校校舎転用許可
昭和 21 年 11 月 29 日	転用校舎の修復工事着工
昭和 22 年 5 月 1 日	校舎修復完了 授業開始
昭和 23 年 4 月 1 日	東京都蔵前工業新制高等学校改称
昭和 23 年 11 月 3 日	校訓（至誠・自立・友愛）を決定
昭和 24 年 3 月 31 日	蔵前工業学校および併設中学校廃止
昭和 25 年 1 月 28 日	東京都立蔵前工業高等学校変更
昭和 26 年 5 月 1 日	校地拡張 5,206.3 m ² （1,566.7 坪）
昭和 26 年 6 月 23 日	実習工場修築落成
昭和 29 年 12 月 16 日	第 1 期校舎落成・創立 30 周年記念
昭和 30 年 9 月 17 日	第 2 期校舎落成
昭和 30 年 10 月 1 日	小野軍操本校校長に就任
昭和 31 年 6 月 20 日	第 3 期校舎落成
昭和 32 年 5 月 10 日	設備工業科実習工場ブロック建落成
昭和 33 年 4 月 1 日	電気実習工場木造平屋建落成
昭和 34 年 7 月 28 日	第 4 期校舎増築落成
昭和 35 年 1 月 14 日	講堂兼体育館落成
昭和 35 年 7 月 16 日	長島泰明本校校長に就任
昭和 36 年 3 月 31 日	実習工場増築 3 階 330 m ² （100 坪）
昭和 38 年 7 月 10 日	館山寮落成
昭和 39 年 11 月 5 日	創立 40 周年記念式典挙行
昭和 41 年 4 月 1 日	長浅嶋武雄本校校長に就任
昭和 45 年 4 月 1 日	長野原隆治本校校長に就任
昭和 49 年 11 月 3 日	創立 50 周年記念式典挙行
昭和 52 年 4 月 1 日	伴義夫本校校長に就任
昭和 55 年 4 月 1 日	国兼光由本校校長に就任
昭和 55 年 4 月 21 日	8 階建校舎第 1 期工事完成
昭和 56 年 9 月 10 日	8 階建校舎第 2 期工事完成
昭和 58 年 3 月 31 日	8 階建校舎第 3 期工事完成
昭和 58 年 4 月 1 日	東京都教育委員会の研究指定校
昭和 59 年 3 月 6 日	中曽根康弘総理大臣、森喜朗文部大臣、文部政務次官等の学校視察
昭和 59 年 9 月 1 日	LAN システムパソコン 41 台設置
昭和 59 年 11 月 24 日	創立 60 周年記念式典挙行
昭和 61 年 4 月 1 日	小林一也本校校長に就任
昭和 63 年 9 月 1 日	LL 装置の設置
平成 1 年 4 月 1 日	長本間孝明本校校長に就任
平成 1 年 10 月 9 日	校庭改修工事完成
平成 2 年 6 月 1 日	中央教育審議会清水司会長学校視察
平成 3 年 4 月 1 日	岩本洋本校校長に就任
平成 5 年 3 月 10 日	全館冷暖房完備
平成 6 年 4 月 1 日	新井芳明本校校長に就任
平成 6 年 11 月 19 日	創立 70 周年記念式典挙行
平成 8 年 4 月 1 日	北島敬己本校校長に就任
平成 11 年 12 月 8 日	文部省研究指定校
平成 12 年 4 月 1 日	浅岡廣一本本校校長に就任
平成 12 年 7 月 19 日	海外修学旅行試行校
平成 13 年 5 月 1 日	文部科学省研究開発学校指定校
平成 13 年 10 月 15 日	実習工場耐震・改修工事完成
平成 14 年 4 月 1 日	定時制建築工学科一科となる
平成 14 年 4 月 18 日	アフガニスタンアミン教育大臣、文部科学省国際統括官等の学校視察
平成 14 年 5 月 26 日	海外修学旅行「オーストラリア」実施
平成 14 年 11 月 13 日	2 号館改修工事完成
平成 15 年 1 月 23 日	浅草中学校連携型中高一貫教育校
平成 15 年 4 月 1 日	野上明夫本校校長に就任
平成 15 年 5 月 12 日	海外修学旅行「オーストラリア」実施
平成 15 年 11 月 11 日	韓国全羅北道教育研修団の学校視察

機窓会

機窓会会長 遠藤 静雄
(昭和44年卒)

同窓会総会開催をお祝い申し上げます。

機窓会、現在の活動は同窓会を通じての学校行事への参画と在校生の諸活動の支援などをおこなっております。

活発などは程遠い状況でありませんが、これからの機窓会活動として各構面で活躍されている機械科卒業生同士が何らかの形で繋がりができればと想っております。これからもご指導ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

○平成23年10月22日、第五



回総会を開催いたしました。

台東区民会館において多数の来席のもと総会が開催され無事に懸案事項も可決となりました。その後はご来賓に学校長を始めとする先生方、先輩OB、同窓会会長、各科会長をお招きして有意義な懇親会となりました。

機窓会において改選された新役員は次のとおりです。

会長 遠藤静雄(昭和44卒)
副会長 片桐一郎(昭和36卒)

副会長 棚橋昌哉(平成12卒)
顧問 深尾秀次(昭和36卒)
顧問 松野義勝(昭和44卒)

○機窓会スタッフ募集

現在、機窓会はスタッフの方々が少なく、会運営に苦慮してまいります。昭和50年代以降卒業の会員さんの方で吾こそ背をばめ機窓会、と自負されます諸兄のご協力をお願い致します。より会員間の絆を太くして行きたいと考えておりますので、是非とも宜しくお願ひ致します。

情報等は、「蔵工同窓会」ホームページへお願いします。

電友会

電友会会長 白井 義勝
(昭和35年卒)

電友会は、学校全体の同窓会とは別に、電力・電気科卒業生のOB会として親睦を目的として平成9年に発足いたしました。

発足以後の卒業生の皆様は、ご入会いただいておりますが、発足以前の卒業生につきましては入会の申込みをいただくこととなっております。電友会会員の皆様にお集りいただいております電友会総会は、隔年開催のため今年開催いたしません。

昨年の電友会総会において、改選された新役員は次のとおりです。

会長 白井義勝(昭和36卒)
副会長 島 篤志(昭和40卒)
岡田憲吾(昭和41卒)
同 足立 攻(昭和42卒)
同 西村耕二(昭和32卒)
同 中西国博(昭和52卒)
同 藤巻 隆(昭和31卒)
同 北島敏一(昭和52卒)

電友会の運営は、役員を中心に幹

事会(原則として毎月)で行事内容・学校行事への参加等を検討し、実行しています。

① 収支報告
収入 入会金 107,800円(8名分)
総会参加費 211,000円
総会費用 71,350円
(資料印刷、郵送費等)

② 活動報告
幹事会 8回
総会、

学校および電友会行事の検討
電友会総会 4月14日
ウォーキング 5月26日
昭和記念公園



電友会の役員の中から推薦で同窓会の役員になって、同窓会と電友会のつながりを持ち入学式・卒業式・体育祭・蔵工祭等の学校の行事に参加して協力し合っております。

最後にりましたが、電友会・同窓会基金へご寄付された方々に

は厚く御礼申し上げます。電友会についての入会申込み・問い合わせ等がありましたら、お気軽にご連絡ください。

「連絡先」 電友会会長 白井義勝
TEL/FAX 047(472)0876

又は、蔵工同窓会のホームページ

建友会

建友会会長 塚本 康一
(昭和33年卒)

建友会の活動(前会報後、以下敬称・略、人数は出席者)
幹事会兼役員会(幹事・各期のクラス代表)

平成23年5月28日
ホキ美術館(千葉市土気)見学会 4名
平成23年9月30日 8名
平成24年4月27日 7名
平成25年1月25日 7名
平成25年4月26日

建友会新入会員
平成24年3月卒業生(61期) 23名
平成25年3月卒業生(62期) 23名

卒業生表彰
卒業設計に当たり「建友会賞」を贈る
平成24年3月9日
最優秀賞・立田賢
優秀賞・窪田麗土 野村真輝
努力賞・高木柚奈 菊池運弘

平成25年3月6日
最優秀賞・市川翔太
優秀賞・禰津啓悟 大関雄斗
努力賞・堀江彩花

総会予定
平成25年9月27日(金)午後6時30分

会場 都立産業貿易センター内(台東区花川戸)

建友会会員の皆様には、後日、ご案内を郵送致します。ぜひ、ご出席下さるようお願い申し上げます。

建友会への連絡先
住所等の変更の場合には、左記にお知らせ下さるようお願いいたします
1 蔵前工業高等学校 建築科教室
2 会長 塚本 康一(昭和33卒)
TEL 03-3691-5300
FAX 03-3691-5302
事務局 岡崎一成(昭和39年卒)
TEL・FAX 03-5702-7530

新規各期のクラス幹事・建友会役員を募集
クラス幹事の内より、役員が互選されます。会の存続のため各期の代表として幹事を送出して下さい。卒業後、お知らせが届かなくなっています。幹事、役員に応募される方は右記連絡先までお知らせ下さい。ご連絡をお待ちしています。

研設会

研設会会長 伊藤 進
(昭和28年卒)

本年度は研設会総会を11月頃開催いたします。なお本年度は役員改選の時期です、詳細は決定しだい往復はがき・インターネット(蔵工同窓会ホームページ)・メールでお知らせしますので多数の参加をお願いします。

研設会は学校全体の同窓会にも積極的に参加しております。特に研設会役員からは同窓会役員でも活躍される方もおり、学校行事への参加以外に同窓会発展のためにも尽力されています。今後とも設備工業科OB(研設会)の皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。

設備工業科教員慰労会を開催いたしました。

本年度3月末をもって、小林紀仁教諭は定年退職、岡田治教諭が異動となります。急ではありましたが研設会同志を募り、平成25年3月15日に総勢15名にて慰労会を開催いたしました。研設会からはささやかではありますが記念品を贈らせて頂きました。



設備工業科がテレビで紹介されました。

昨年10月16日の「東京サイトーテレビ朝日」で、魅力あふれる都立高校!蔵前工業高校ものづくりを学ぶと題して、都内高校唯一の設備工業科が紹介されました。番組案内は林家きく姫、ナレーションは市川寛子。生徒は一人5つ位の資格を保有している、との話はOBとしても頼もしく思いました。

研設会へのお問い合わせは研設会副会長 尾島 正樹
TEL・FAX 047-386-1892 または蔵工同窓会ホームページでお願いします。

同窓会

蔵工祭で「何でも相談コーナー」を開設



同窓会では毎年、蔵工祭で生徒向けに「何でも相談コーナー」を開設し、先輩からのアドバイスを行っています。毎年250名ほどの来訪者があり、同窓会からは毎回延べ15名ほどで対応し、和やかな雰囲気なか、就職・就職試験・資格試験など相談に答えました。

当日は蔵工記念館も同時開館し、多くの来館者もありました。来館者からは「文化祭にきて初めて記念館のことを知りました、昔からのいろいろな物が展示してあり、説明して頂いたため、ためになった。」と好評でした。

学校側との交流

情報交換会

学校行事にあわせた会議とは別に、学校全日制・定時制副校長と同窓会会長・副会長は毎月定例連絡会を開催しております。同窓会とのコミュニケーションを図る貴重な会議として位置づけおり、有意義な意見交換の場となっております。議事内容は常任委員会にて議事録を回覧しております。

学校・PTA懇親会



学校長・副校長・各科先生・PTA・同窓会との懇親会として、年1回、新年会を開催。また、平成23年夏は定例として、同窓会旅行会に先生およびPTA役員も自由参加の「屋形船で隅田川下り」を計画致しました。

平成23年度同窓会総会・懇親会



平成23年度の同窓会総会は平成23年7月8日(金)18時より台東区民会館9階特別会議室で開催されました。盛況のうち開催されました。

議事も無事承認されました。懇親会には旧職員の懐かしいお顔も拝見でき、お元氣な祝辞もいただきました。

機械科OB 白幡洋一氏講演

昭和37年機械科卒業の先輩で



氏の講演が平成23年7月15日午後1時から2時まで本校体育館で開かれました。講話のタイトルは「自分自身の人生を振り返り、蔵工生に期待する！」

- ①震災、復興について現地東北からの視点の話。
- ②ベガルタ仙台の躍進と裏話など。
- ③社会での経験をふまえて、社会人としての心構えについて示唆。
- ④企業側から見た「期待する高校生」について、就職に向けての心構えや面接等で心がけるべきこと。
- ⑤先輩として、今の蔵工生に対して高校生活の過ごし方についてアドバイス。

物故者

同窓会役員訃報

浅野 義雄氏
設備工業科昭和34年卒(享年71歳)

平成23年9月ご逝去

同窓会特別賞の授与

同窓会在校生表彰規程により、母校の在校生が日頃の精進によって知育、徳育、体育の各方面において活躍し、優秀な成績を収めた

サッカーベガルタ仙台の白幡洋一 生徒および団体の栄誉を称え、表彰状および記念品を授与しております。

基金振込方法

基金振込方法

会報同封の郵便振替用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。通信欄に卒業学科と卒業年、住所・氏名欄も必ずご記入ください。なお、総会会費も合わせて振込む場合は、その旨が分かる様に記入してください。

振込詐欺発生!

警視庁からの連絡によると、本校卒業生を騙ったオレオレ詐欺事件が発生しました。なお、現在まで本校の卒業生名簿が使用されたという事実には確認できておりませんが、その可能性もあります。もし不審な電話があった場合は110番通報するとともに、学校にもご一報ください。03-3862-4038

なお、同窓会では現在卒業生名簿の販売・公開は一切行っておりません。

同窓会基金報告とお礼

基金理事長 伊藤進



同窓会基金は、平成23・24年の基金寄贈者は下記の名簿通りです。誠に有難うございます。なお、平成24年度までの基金収支状況は総会にて報告いたします。引き続きのご協力を願って振込用紙を同封いたします。

氏名	卒業年	科	全・定	氏名	卒業年	科	全・定	氏名	卒業年	科	全・定
海老沢 一行	昭和31年	建築	全日	片岡 幸雄	昭和35年	電気	全日	榎本 芳典	昭和18年	機械	定時
藤武 昇	昭和25年	機械	定時	青木 善男	昭和38年	電気	全日	高橋 信治	昭和37年	機械	定時
清宮 寿太郎	昭和17年	機械	定時	中島 (不明)			定時	今井 敬介	平成12年	機械	全日
佐藤 繁	昭和17年	電気	定時	山中 八洲夫	昭和37年	機械	全日	川合 胤臣	昭和40年	電気	全日
野本 国雄	昭和35年	設備	全日	鈴木 利雄	昭和18年	電気	定時	松野(熊組)	昭和44年	機械	全日
花田 浩至	昭和38年	設備	全日	喜多山 弘	昭和34年	建築	全日	宇佐美 敏	昭和39年	建築	全日
大須賀 三郎	昭和20年	電気	定時	後藤 崇	昭和42年	電気	全日	清宮 寿太郎	昭和17年	機械	定時
渡部 記三由	昭和29年	建築	全日	加藤 順治	昭和28年	設備	全日	藤池 日出夫	昭和25年	機械	全日
内藤 知一郎	昭和18年	機械	定時	松沢 真吾	昭和34年	建築	定時	関口 弘一	昭和33年	機械	全日
深尾 忠男	昭和36年	建築	全日	帆坂 誠一	昭和49年	機械	全日	松永 明也	昭和34年	機械	全日
金子 英夫	昭和31年	設備	全日	加藤 イサム	昭和31年	電気	定時	関口 宏之	昭和40年	電気	全日
加藤 裕保	昭和41年	機械	全日	石川 正義	昭和31年	建築	全日	品田 雄三	昭和52年	機械	全日
浅井 治夫	昭和33年	建築	定時	柳瀬 重利	昭和20年	電気	定時	松野 義勝	昭和44年	機械	全日
高橋 孝夫	昭和33年	建築	全日	西井 久幸	昭和57年	電気	全日	福地 秀男	昭和29年	電気	定時
吉田 幸雄	昭和46年	建築	全日	岡田 信男	昭和32年	設備	全日	加藤 イサム	昭和31年	電気	定時
鈴木 晃男	昭和29年	機械	全日	細川 之義	昭和38年	建築	定時	根岸 敏雄	昭和35年	電気	全日
古平 光市	昭和36年	機械	全日	藤池 日出夫	昭和25年	機械	全日	青木 善男	昭和38年	電気	全日
渡邊 栄一	昭和42年	電気	全日	山本 洋治	昭和35年	電気	全日	黒川 浩志	昭和37年	電気	定時
小林 一洋	昭和59年	電気	全日	最上 則彦	昭和29年	設備	全日	関谷 恵輔	昭和35年	電気	全日
木田川 清	昭和36年	建築	全日	最上 良子	昭和29年	設備	全日	小野瀬 博	昭和31年	電気	定時
梅澤 靖幸	昭和33年	電気	全日	岸田 信行	昭和31年	機械	全日	渡邊 栄一	昭和42年	電気	全日
丸山 泰弘	昭和32年	機械	全日	福地 秀男	昭和29年	電気	定時	松浦 紀男	昭和34年	電気	全日
中村 英治	昭和32年	電気	全日	丸山 孝司	昭和46年	建築	定時	望月 輝男	昭和31年	電気	定時
直江 肇	昭和28年	電気	全日	藤本 昇	昭和44年	電気	全日	小山 年春	昭和34年	電気	全日
早川 晴男	昭和45年	機械	全日	根岸 敏雄	昭和35年	電気	全日	川越 直樹	平成21年	電気	全日
名田部 修弘	平成4年	機械	全日	前田 誠喜	昭和21年	電気	定時	杉浦 康平	昭和28年	機械	全日
田辺 義光	昭和48年	設備	全日	川村 誠一	昭和28年	建築	定時	(振込順)			